

広報 たかしま

10
1
日号
平成21年
No.100

10
1
日号
平成21年
No.100



大漁・・・!? 琵琶湖の現状うかがわせる
「第3回たかしま市民まつり 地引網体験」で
※市民まつりの模様を、市のホームページ「高島みてねっと!」で動画配信!

【特集】南部藩に雄飛した高島商人 ②-⑤

お知らせ拡大版	6-10	健康生活	16	窓口だより	27
タウンピックアップ	11・12	びょういんだより	17	歴史散歩	28
みんなで5・7・5	13	国保年金あらかると	18		
消費生活相談・省エネ	14	暮らしの情報	19-25		
教育委員会 information	15	そうだ図書館に行こう♪	26		

発行／高島市 編集／企画部秘書広報課
〒907-0004 滋賀県高島市新旭町北畑ののり番地
☎0740(25)8000(2)
http://www.city.takashima.shiga.jp
✉info@city.takashima.shiga.jp



▲日枝神社 (南船木)

高島市内(旧高島郡)における江戸時代の幕藩体制は、入り組み支配(※)の様相を呈しています。ちなみに挙げますと、金沢藩・伯太藩・堅田藩・郡山藩・敦賀藩・朽木藩・小浜藩・大溝藩・直轄領などです。若狭小浜藩は、若狭遠敷郡に置かれた藩で、十萬三千石の譜代大名です。藩主は酒井氏で、高島郡内に、梅原村・三谷村・伊井村・構平ヶ崎村・木津村・米井村・辻沢村・下吉武村・安養寺村・河原市村・井口村。

船木村・拜戸村・野田村・上古賀村等を領地としていました。船木村では、日枝神社に対して、正保3年(1646)8月に酒井忠勝公が上尊(※)を命じて社領(神社の領地)二石五斗を寄付しています。一方、近江大溝藩は、元和5年(1619)伊勢上野(現三重県津市)から近江大溝へ二万石の藩主として分府光信公が入府(※)しました。以後、高島郡内の・大溝村・打下村・石垣村を始め32ヶ村と野洲郡内の矢嶋村・小嶋村・今濱村を含めた5ヶ村を領地としていました。小浜藩も大溝藩も二百数十年続いた江戸時代全般を渡って藩政が続ぎ、明治維新以後は版籍奉還をして、長きに渡る藩の歴史に幕を引きました。そこには、数々の歴史が刻まれています。福井県の小浜市にある福井県立若狭歴史民俗資料館と高島歴史民俗資料館では、この秋に次の展覧会が開催されます。

近江大溝藩と若狭小浜藩

編集後記

今年の9月は、敬老の日を挟んで大型連休が出現しました。春のゴールデンウィークに対してシルバーウィークと呼ばれるこの連休。シルバーと敬老をかけたとか、そうでないとか。9月1日現在、市内の100歳以上の方は27人で、最高齢者は明治37年生まれの田上ふじさん105歳。皆さんの健康と長寿にあやかりたいものです。明治37年と言えば朝日新聞の「天声人語」が誕生した年でもあります。折しも「広報たかしま」は今号で100号を迎えました。100の縁にあやかり、未永く皆さんに親しまれる広報誌づくりに今後も努めてまいります。お気づきの点などございましたら、お気軽に秘書広報課までお寄せください。(広報担当O)



▲分都神社 (勝野)

※入り組み支配・・・互いに組み合った複雑な支配形態
※上尊・・・屋根など書いてある上にさらに書くこと
※入府・・・領主などが初めて領地に入ること

高島歴史民俗資料館

☎0770(56)0525
☎(36)1553

◆展示「近江大溝藩 分都家展」
▼会期 11月3日(火)～29日(日)
(文化財課 高島歴史民俗資料館)

若狭歴史民俗資料館

☎0770(56)0525

◆展示「特別展 若狭小浜藩 大老酒井忠勝とその家臣団」
▼会期 10月17日(土)～11月15日(日)
◆記念講演 「人・酒井忠勝 幕府と藩とのはざままで」
▼講師 藤井讓治先生 (京都大学文学研究科教授)
▼日時 10月25日(日) 13時30分～15時